

令和8年3月25日

お客さま各位

豊橋信用金庫

愛知大学×株式会社あつみ編集舎×豊橋信用金庫
田原市旧渥美町エリア地域課題解決プロジェクト
愛大生による最終プレゼンをあつみの市レイで開催。

豊橋信用金庫（本社：豊橋市小畷町）は、令和7年10月より、愛知大学地域政策学部と株式会社あつみ編集舎と連携して、田原市旧渥美町エリアの地域課題解決プロジェクトに取り組んでいます。3月9日（月）、愛知大学地域政策学部 菊地ゼミの学生（2年生）17名が、あつみの市レイにて、株式会社あつみ編集舎の担当者に向けて、当地域の活性化に繋がる新商品のプレゼンを行いました。



◆最終プレゼン発表会を終えて、免々田川にて記念撮影する菊地ゼミの皆さんと当金庫職員

●フィールドワークで地域への理解を深める

愛知県田原市の旧渥美町エリアでは、人口減少や高齢化が進み、地域活力の維持が大きな課題となっています。本プロジェクトでは、半年間で6回のフィールドワークを実施。渥美半島の観光資源や特産品に触れ、地域の魅力を肌で感じながら、旧渥美町エリアへの理解を深めました。半年の間には、あつみの市レイを訪れ、あつみ編集舎の担当者から直接、「あつみの市レイ」に込めた地域活性化への思いをヒアリングしました。



◆プレゼンを行う愛知大学の学生



◆緊張しながらも堂々としたプレゼン姿

●学生が考える「関係人口」を増やすお土産

学生たちは、旧渥美町エリアの地域性や課題感、あつみ編集舎の思いをもとに、当地域の関係人口創出につながる新商品アイデアを考えました。フィールドワークで訪れた伊良湖岬灯台や日出の石門などの観光資源に着目した学生たちは、観光客からその家族や友人へ、渥美の魅力を伝え、つないでいくことができる“お土産”をテーマに議論を重ねました。

旅の最後に買うお土産という従来の発想を転換し、旅の始まりに買うお土産という新たな視点から、「学生のおすすめ付き観光パンフレット」「パッケージが撮影グッズとして使える仕掛け」「SDGsに配慮した素材の採用」など、学生ならではのアイデアを発表しました。

●日頃培った「経営支援力」をこの街のために。

本プロジェクトでは、経営支援を専門とする当金庫・事業支援部の職員が、学生たちの“壁打ち相手”となりサポートを行いました。「誰のどんな課題を解決する商品か考えてみよう」「購入するシーンが想像できるといいね」「プレゼンでは、伝える順番を工夫してみよう」など、マーケティングやアイデア発想、販売促進など、日頃の業務で培った専門知識を生かして学生たちの相談相手となりました。最終発表会の直前まで、ゼミやオンラインにて計3回の壁打ちを行い、回を重ねるごとに成長していく姿を間近で見守りました。



◆ゼミに参加し「壁打ち相手」となる当金庫職員



◆想いのこもったプレゼンに感心する(株)あつみ編集舎 青山氏

●みんなに応援してもらえる商品をつくろう

学生たちのプレゼンを聞いた(株)あつみ編集舎の青山氏からは、「皆さんが真剣に考えてくれてとても嬉しいです。若い皆さんと一緒に取り組む貴重な機会ですので、多くの方に応援していただける商品にしたいと思いました。」とコメントをいただきました。最終発表での学生たちのアイデアをもとに新商品開発を進め、夏頃の販売開始を予定しています。

<本プロジェクトの概要>

本プロジェクトは、豊橋信用金庫、愛知大学、株式会社あつみ編集舎の3者が連携し、田原市旧渥美地域の中心市街地にある複合施設「あつみの市レイ」をフィールドとした学生主体の地域活性化プロジェクトです。愛知大学と包括連携協定を締結する当金庫が、愛知大学とあつみ編集舎の橋渡し役となり、令和7年10月にスタートしました。学生ならではの視点、地域に根差す企業の想い、地域金融機関のネットワークを集結し、新たなまちづくりのモデルとして地域活性化に挑戦するものです。

<本プロジェクトの背景>

田原市旧渥美町地域では、人口減少や高齢化が進行しており、持続可能な地域づくりが求められています。こうした中で、若者の視点と地域金融機関のネットワークを活かした連携が、新たなまちづくりのモデルとして期待されています。「あつみの市レイ」では、地域の自立や持続可能性を高めるとともに、地域文化やコミュニティのつながりをつくる「ローカルファースト」と「関係人口の創出」を地域活性化に不可欠な要素と考え、「地域資源を活用したみんなのレイ UpDate プロジェクト」を進めています。このような中で、地元の愛知大学と連携し、学生ならではの視点で地域が直面する人口減少や高齢化に対する解決策を検討していくこととなりました。

<施設概要について>

あつみの市レイ（運営：株式会社あつみ編集舎）

所在地：田原市福江町堂前 60

開業：令和7年2月

主な施設：渥美フーズ（スーパー）、渥美半島醸造、パン工房、食堂、イベントスペース、ゲストハウス



◆あつみの市レイを見学する学生たち

概要：「あつみの市レイ」は、かつて地域の商業の中心であったショッピングセンター「レイ」を、令和7年2月に株式会社あつみ編集舎が再生した複合施設です。地域の人が集う場所、そしてその魅力を求めて集まってくる地域外の人たちとの「ハブ」となる、地域の新たなコミュニティ拠点として注目されています。



◆4チームに分かれて発表しました



◆地元の方が免々田川を案内

【本件に関するお問い合わせ】

豊橋信用金庫 総合企画部

TEL : 0532-57-7112